

# 笑顔で訪問 EVERYDAY

- いはなす通信 -

Vol.12



-0歳から130歳まで安心して住み慣れた地域で暮らせる支援をする-

ますます秋の深まりが感じられるこの頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

言語聴覚士の山内です。私はいはなすに入りちょうど2ヶ月が経ったところです。今回は、言語聴覚士(ST)の仕事内容について、簡単にご紹介します。STは、飲み込むことや話すこと、聞くことなどに不自由がある方や認知症の方、発達やことばの遅れがあるお子さんに対して、訓練・援助をします。具体的な対象者と訓練の内容です。訓練の内容は大きく分けて4つになります。

## 「飲み込み」の障がいに対して

病気や加齢などにより、食べ物を噛んだり飲み込むことが困難になる(=嚥下障がい)

- ・食事中によくむせ込む
- ・食べ物がつかえる感じがする
- ・食後にガラガラ声になる
- ・食べるとすぐに疲れて、全部食べられない

これらの症状はないですか？嚥下障がいは「誤嚥性肺炎」を招きます

- ・食べにくい、飲み込みにくい原因を評価する
- ・食事に関わる器官(舌や唇)の運動訓練と喉の筋力や飲み込みの反射を高めるような訓練を行う

## 「高次脳機能障がい」に対して

脳卒中や事故により、脳の機能が障がいを受けることで、様々な状態を引き起こすこと。

- ◆失語症：大脳の言語野が損傷され「話す」「聞く」「読む」「書く」ことが困難になる。
- ◆記憶障害：思い出せない、覚えられない。

言いたい言葉が出てこない  
話が理解できない

- ・機能訓練：障がいされた能力自体を訓練する。
- ・代償手段の獲得：保たれている能力を有効に活用できる方法を身につける。
- ・環境調整：生活しやすい環境や周囲との関わり方を検討・調整

## 「話すこと」の障がいに対して

構音障がい	音声障がい	吃音
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳機能障がいにより、唇や舌の動きが悪くなり、呂律が回らなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声に異常(かすれる、小さくなるなど)が発生する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳機能障がいにより、唇や舌の動きが悪くなり、呂律が回らなくなる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・口の体操</li> <li>・口の動きを意識しながらの喋りの練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な発声方法を練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練と合わせて、その方が話しやすい環境を調整</li> </ul>

## 「ことばの遅れ」に対して

知的発達の遅れ、対人関係の障がい、脳の損傷などにより発達が遅れているお子さん



- ・ことばやコミュニケーションに関心を持たせる
- ・語彙や文法、文字の習得を促し「ことばの獲得」をサポートする



食べることやコミュニケーションをとることなど、生きるうえでの大きな楽しみを共有し、利用者様のQOL(人生・生活の質)向上に貢献していきたいと思っております。言語聴覚士 山内 育未

9月27日に開催しました第3回はなすセミナーでは、38名の各関係者の皆様にご参加いただきました。「むかさ内科呼吸器内科クリニック」の向笠 洋介先生にご講義いただき、当事業所管理者よりお看取りの実践報告、その後グループワークを行い活発な意見が飛び交い非常に有意義な時間となりました。参加者の皆様よりいただいたアンケートを参考に、次回以降もより良いセミナーが開催できるように努めてまいります！！次回開催は来年3月を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

研修担当：亀谷 文弥

## セミナー報告



ビッグボイス瀬尾の  
毎日アクティブ！！  
BLOG



- いはなすブログも更新中です -

ぜひ一度ホームページに足を運んでみてください！！  
<http://www.reha-nurse.com/> 「いはなす」で 検索

STAFF-BLOG



いつも元気一杯・はつらつとした印象の社長の元、スタッフが明るく、やりがいのある仕事として取り組んでいる姿勢が伺える、素敵な”りはなす”さんです！

訪問看護のみにとどまる事なく、医療的ケアを必要とする子ども達が利用できる『多機能型事業所』を開設され、今年度は桂川町で事業展開もされたとの事。目的に向かって、計画→実行と、その原動力は、「深い地元愛」と「何とかしたい」という強い気持ちなのでしょうね。

同じ訪問看護に関わるステーションとして、今後も連携をとりながらすすみたいと思っています。今後もよろしくお願いいたします。

リハビリ訪問看護ステーションすばる 長田美紀



「身体の衰えを感じたら・・・」

加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す事をフレイルと呼びます。今回はそのフレイルについてお話したいと思います。

コラム



フレイルかどうかを調べる簡単なテストとして『指輪っかテスト』があります。まずは、左図のテストを実施してみましょう！

「隙間ができる」方はもしかすると、筋肉量の衰え（サルコペニア）があるかもしれません！フレイルは、このテストでわかる筋肉量の衰え（サルコペニア）以外にも、心の問題や社会との関わりの低下が作用しあってフレイルの状態になります。気になる方はフレイル予防教室への参加をお勧めします。

フレイルを予防するには適度な「運動」と「栄養バランス」の取れた食生活、そして「社会活動への参加」が重要となります。最近の研究では、特に「社会活動への参加」頻度の低下が、フレイルの入り口になりやすいといわれています。10月になり過ごしやすい季節になりました。皆様もこの機会に旅行やお出掛けなどしてみたいはかがでしょうか。

理学療法士 森崎 裕介

サルコペニアの危険度の高まりとともに、様々なリスクが高まっていくことがわかってきています。

筋力が衰える現象をいいます。

サルコペニアとは、年をとるにつれて、

転倒・骨折などのリスク

低い サルコペニアの危険度 高い

※「指輪っかテスト」は、東京大学高齢社会総合研究機構が実施した柏スタディをもとに考案されました。

スタッフ紹介

こんにちは、1月から働かせていただいています楠元です。前職でも、現在と同様に訪問看護ステーションで勤めていました。娘の入院と手術の為、1年ほど休職したのち、りはなす訪問看護ステーションに勤務することとなりました。復職するにあたり、やはり利用者様にしっかりと関わられる訪問看護の仕事をしたしたいと思います。また、私の娘は聴覚障がいを抱えており、育児する中でその難しさを感じています。その経験も活かしつつ、障がいを持つお子さんやご家族の助けになればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

楠元 晶子



編集後記

日に日に秋も深まってまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？今回はりはなすの秘密の一つご紹介したいと思います。前面の写真で分かる通り、スタッフは色とりどりの制服を身に着け皆様の元へ訪問させていただいています。その数なんと20数種類！！中にはその人柄やその日の感情さえも表現され得るアイテムの一つとなっているかもしれません。僕は似合う色が全然ないのが悩みです(汗 ぜひ職員制服の色にも注目していただくと幸いです。

編集：芳川 龍太

一緒に働いて頂けるスタッフ募集中です

- 【正・准看護師】●常勤 ●主に 8:30～17:30 ●サテライト事業所(桂川町)勤務可能な方
- 【理学療法士・作業療法士】●常勤 ●主に 8:30～17:30 ●経験年数3年以上

条件等はお気軽にお問い合わせください  
ハローワークの求人票もご覧ください♪

緊急時 365日  
24時間対応



TEL:0947-85-8110 FAX:0947-85-8120  
〒822-1316 福岡県田川郡糸田町 2241 番地 9